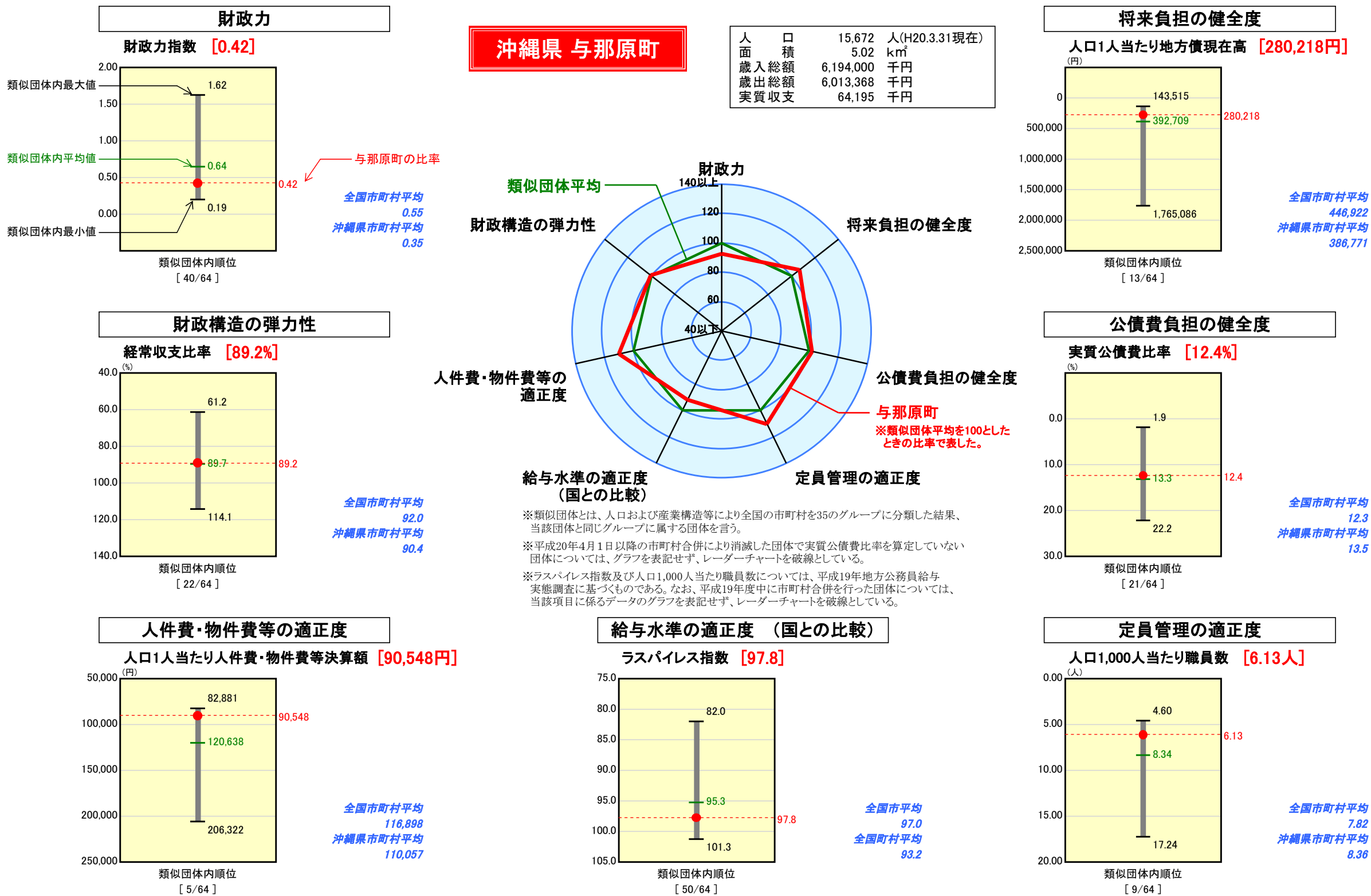


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)



## 分析欄

●財政力・・・財政力指数は前年より0.1伸びているが、全国平均を下回る所得や町内に中心となる基幹産業がないことなどにより、類似団体平均よりは下回っている。与那原町緊急財政健全化計画及び集中改革プランに沿って、引き続き地方税の徴収強化や埋立地域における企業誘致活動を行い財政基盤の強化に努める。

●財政構造の弾力性・・・与那原町緊急財政健全化計画及び集中改革プランにより人件費が減少している一方、少子高齢化等による扶助費や、各会計への繰出金への増加しているが、比率は前年度より0.1減少している。

●人件費・物件費等の適正度・・・与那原町緊急財政健全化計画及び集中改革プランに沿って定員管理、給与の適正化に努めているので、類似団体平均より大きく下回っている。

●将来負担の健全度・・・人口1人当たりの地方債現在高は類似団体平均を大きく下回っているが、埋立地域の道路等や、公園整備、中学校建設などによる地方債の発行により前年度より増となっている。

●公債費負担の健全度・・・大型の公共投資の適切な取捨選択により、類似団体平均を下回っている。引き続き道路・下水道・公園整備・義務教育施設を建替えているため、注視する必要がある。

●給与水準の適正度・・・与那原町緊急財政健全化計画に基づき退職者不補充をしているが、若年層の管理職等がいることにより、類似団体平均よりは高い値になっている。

●定員管理の適正度・・・与那原町定員適正化計画に基づき職員削減に努めており、その結果、類似団体平均を大幅に下回る職員数となっている。今後とも計画とサービス提供のバランスを考慮しながら適正化に努める。